

中央支部 活動報告

中央支部長 坂井 和彦

《一年を振り返って》

本年度の中央支部のニュースとしてまず、8年ぶりに手話奉仕員養成講座（前期）を開催した事と、手話言語法の請願運動に取り組み、意見書が千葉市議会で採択され、国会へ提出することになった事の2つが挙げられる。

ろうあ者の皆さんが暮らしやすい街づくりを目指した運動や活動の機会が徐々に増えていき、障害者総合支援法や来年4月からスタートする差別解消法など法律について学習していかなければならないという事を改めて認識した1年間であった。

会員の人数については、25度と比して5名減少して75名。

まだ千葉市在住で非会員のろう者がたくさんいるので、引き続き、会員になってもらうよう働きかける事にも力を入れたい。

行事については非会員も積極的に呼びかけるようにする。

《事業報告》

◎中央支部定期総会

日程：平成26年4月20日（日）

会場：千葉中央コミュニティセンター

参加者：38名

内容：総括報告、各部活動報告、収支報告、活動方針案・事業計画案、各部活動方針案、予算案、その他

議長の進行により、会がスムーズに進み、総括報告などを行った。その中でいくつかの議論が交わされた。いくつかの課題が浮き彫りになるところがあった。手話言語法に関する関心が高まり、請願運動を進めていくことになった。平成25年度活動報告、平成26年度活動方針案について参加者の賛同を得、無事に終了された。

◎義務研修会

日程：平成 26 年 10 月 31 日（金）

会場：千葉聴覚障害者センター

参加者：20 名

内容：千葉県聴覚障害者協会の植野圭哉理事長より、

『なぜ、ろうあ運動なのか？』

テーマにした講演をして頂いた。障害者総合支援法に伴い、政令指定都市としてどう取り組むと良いかについて参考になるようなたくさんのお話をして頂いた。今後のろうあ運動につながるように頑張っていきたい。

◎講演会

日程：平成 27 年 2 月 14 日（土）

会場：千葉中央コミュニティセンター

参加者：22 名

議題：「ろうあ者のキャラクターについて」

講師：塩野谷富彦氏

ろうあ者の特徴や個性について非常に味のあるお話をして頂いた。ろうあ者は周りから受ける影響が大きく、特に両親がろうあ者のケースと両親が健常者のケースで大きく分かれるとの事。あと、心理学についてのお話もあり、これがとても面白かった。あちこちからまた、塩野谷さんの講演が聞きたい！とのお声が挙がりました。

◎つくる会中央ブロックが主催になって街頭カンパを実施

- ・初夏の街頭カンパ 平成 26 年 6 月 22 日（日）場所：稲毛駅

収益：159,762 円

- ・春の街頭カンパ 平成 27 年 3 月 15 日（日）場所：稲毛駅

収益：116,165 円